

## 微生物変異原性試験研究会(BMS)活動報告

2006年度の活動報告:

2006年度は庶務幹事の交代があり, 下記の幹事のもとで活動を行った.

会長:加藤雅之

庶務幹事:中村真人

会計幹事:田中 仁

幹事:西郷和之, 佐藤精一, 中島 圓

BMS 研究会は, 1986年の発足以来, Ames 試験における検出感度(変異誘発物質に対するレスポンス)を向上させ, さらに試験施設の検出感度に差を生じさせる要因を特定, 排除するため, 試験材料および試験条件, 判定方法, 背景データの解析と管理など, Ames 試験の実施における諸問題に関する共同研究を実施してきた. また大腸菌を用いた突然変異スペクトルの解析, ニトロアレーン, 芳香族アミンに対する高感受性株を用いた Ames 試験陰性物質の検討, ヒト S9 を用いた Ames 試験の有用性の検討と, Ames 試験の実施における諸問題だけではなく, 微生物を対象とした幅広い領域の変異原に関する共同研究も積極的に行ってきた. しかし Ames 試験に携わる研究者が置かれている現状は, 組織内での頻繁な異動により Ames 試験に継続して取り組むことができず, その基礎および応用, サイエンスとしての視野を若手研究者に引き継ぐことは困難なものとなっている. 従ってこれからの BMS 研究会は, これまでのような変異原に関する研究だけではなく, Ames 試験にかかわる若手研究者の育成, 教育支援を目的とした共同研究への取り組みも必要とされている. またこれまで研究者の育成を担ってきた精度管理事業(日本バイオアッセイ研究センター)が終了となったことから, 会員から精度管理事業に代わる新たな試みが要望された. このような経緯から, BMS 研究会は今年度より共同研究として精度管理試験を企画し, かつ継続して今後実施してゆく環境を整えた. これにより, 得られた結果の評価, 議論を通じた若手研究者への知識, 技術の共有, 移譲が継続して行えるものとする. また精度管理試験の実施で生じた初歩的な疑問, 技術的な問題などを検証する小共同研究の実施を提案し, 若手研究者同士の交流, 積極的な活動の場を設けた. 精度管理試験で得られた知識, 技術および初歩的な疑問, 技術的な問題などは, BMS ホームページに掲載する「Ames 試験 Q&A」で公開する予定. 2006年度の主な活動を下記に示す.

### 1. BMS 研究会第 36 回定例会

三浦会員のお世話により, 新横浜において春の定例会を実施した. 招待講演として高梨啓和先生に Ames 試験結果の  $t$  検定による判定方法, Ames 試験におけるデータの分布及び分布推定の方法に関する内容で講義していただいた. また第 1 回精度管理試験の結果, データ解析の経過を報告し, ナイトセッションにおいて試験結果, データ解析の結果をもとに参加者による検討会を行った. ナイトセッションでは, その他に談話会を設けて山田雅巳先生に Ames 試験に用いる菌株に係る規制, 法律に関して説明していただき, 菌株の取り扱いについての理解を深めた.

日時:2006年7月28日～29日

場所:マルコーイン・新横浜

内容: 1) 総会

2) 招待講演

2 標本の  $t$  検定に基づく Ames 変異原性試験結果の陽性・陰性の判定

高梨啓和先生(鹿児島大学工学)

3) 精度管理試験結果報告

4) ナイトセッション

・Ames 試験菌株の取り扱いー最近の行政の動向について

山田雅巳先生(国立医薬品食品衛生研究所, 変異遺伝部)

・精度管理試験データ解析

## 2. BMS 研究会第 37 回定例会

第 36 回定例会でのデータ解析結果を踏まえ, また新たに加えた評価より得られた試験の感度, 信頼性を維持, 向上させるための知見を報告し, これをもとに Ames 試験に携わる研究者の日常の試験の中での取り組みについて考えた. また Ames 試験を始めて間もない研究者の初歩的な疑問, 技術的な問題をテーマにした小共同研究の実施を, 会員から寄せられたテーマの説明を例に提案した.

日時:2006年11月19日

場所:大阪府立大学なんばサテライト教室

内容: 1) Ames 試験における感受性および精度に関する共同研究ー精度管理試験の総括

加藤雅之(精度管理試験・共同研究グループ世話人)

2) 新規共同研究の案内ー共同研究小グループの提案

3) 庶務連絡

## 3. BMS 研究会研究成果:

Ames 試験における感受性および精度に関する共同研究(日本環境変異原学会第 35 回大会発表)

## 2007 年度の活動予定:

1. 春, 秋の定例会の実施

2. 第 2 回精度管理試験の実施

3. 小共同研究の実施

4. 幹事改選

定例会の日程, 精度管理試験及び小共同研究の実施日程及びテーマ, 選挙についての詳細は, BMS ホームページに掲載する予定

(文責:日本生物科学センター 加藤雅之)